

NO. 13 「とよの未来科」創設に向けて（1）

令和4年6月28日

① 自然の宝庫「トンボ池」取材しました

「とよの未来科」では、ふるさとである豊能町を知り、**豊能町に誇りを持ち、自信をもって社会を生き抜く子ども**をみんなで育てることを目指します。
「とよの未来科」は来年度より全学年（小1～中3）で始まります。今年度は吉川小学校を研究学校として、どんな内容や教材で勉強するか検討していただいています。その教材のひとつである「トンボ池」に行ってきました。



1. 東ときわ台の外周路を上がっていくと、配水池の所に標識があります
吉川峠 右青貝山、トンボ池経由天台山（右下道路を下っていきます）



2. ひんやりと涼しいヒノキ林を下っていきます



3. ヒノキ林を抜けると、分岐点が出てきますが、看板の表示があり左上の道をたどります。右下の道は箕面森町につながります。



4. 配水池からハイキング道を歩いて15分、「トンボ辻」の看板が見えて「トンボ池」に到着。入り口にある看板には

| | | |
|--|---|--|
| | <p>～豊かな自然を次世代に～</p> <p>トンボ池では、より豊かな自然環境の復元・維持を目的に生態系の調査・観察を通じて保全活動を行っています。皆様のご協力をお願いします</p> <p>-吉川上光ヶ谷トンボ池 倶楽部-</p> | |
|--|---|--|



5. シオカラトンボが何度も旋回を繰り返し出迎えてくれました。
トンボ池では、これまで21種のトンボが確認されています。先に来られた方が写真を撮っておられたので、シオカラトンボの動きを写真に収めました。



6. 8号田の右手山側にある木にモリアオガエルの卵塊が、まだ幾つもぶら下がっています。



7. よーく見ると、田んぼの中ではオタマジクシが元気に泳いでいました。



8. 奥にある1号池から12号池まで、沢山のボランティアの方々の力で、階段状にきれいに整備していただきました。

道中、そしてトンボ池周辺では、ジャノメチョウ、アカタテハ、テングチョウ、スミナガシ、カラスアゲハ、カナブン、スズメバチ、シオカラトンボ、コオニヤンマなど、沢山の蝶や昆虫に出会うことができました。

素晴らしい自然の宝庫「トンボ池」をみんなの力で守り、次世代に引き継ぎたいですね。観察時間30分を含め、配水池から往復60分の行程です。